千葉市図書館情報ネットワーク協議会

Network 通信

No. 34

Ⅰ　平成２２年度総会及び第１回研修会の報告

≪ 千葉市美術館講堂 ≫

平成２２年５月２７日、千葉市美術館の講堂を会場として、平成２２年度の総会および第１回研修会を開催しました。ネットワーク協議会加盟館２５館中、２４館（委任状１館）３８名の参加を得て、総会における議事はすべて承認されました。

研修会では、まず千葉市美術館学芸員・西山純子氏の事例発表、そして、千葉市美術館広報担当の高田紫帆氏からの「伊藤若冲展」について概要説明があり、その後千葉市美術館８階で開催されている「伊藤若冲展」の見学をしました。

日　時	平成２２年５月２７日（木曜日） 午後２時００分～２時５０分　総会 午後３時０５分～５時００分　第１回研修会
会　場	千葉市美術館　講堂（11 階）

総会の報告

１　開会

２　議事

（１）平成２２年度役員について

任期満了に伴う役員の改選で事務局案が承認され、その後、理事の互選により会長と副会長を選出し全体に報告されました。新役員は次のとおりです。

≪ 会 長　齊藤　誠一 氏 ≫

【理事】

会　長　齊藤　誠一 氏（千葉経済大学総合図書館）

副会長　三浦　正克 氏（放送大学附属図書館）

伊藤　　博 氏（千葉県立中央図書館）

井村　　進 氏（日本貿易振興機構アジア経済研究所図書館）

佐藤　尚武 氏（千葉大学附属図書館）

丹羽　重之 氏（神田外語大学附属図書館）

藤井　武彦 氏（敬愛大学・千葉敬愛短期大学メディアセンター）

森　　生也 氏（植草学園大学図書館）

山本　和豊 氏（千葉市稲毛図書館）

【監査】　石田　敦郎 氏（放射線医学総合研究所図書室）

今井　克己 氏（千葉市生涯学習センター）

また、下記の事務局（千葉市中央図書館）メンバーが紹介された。
事務局長；鹿間　陸郎、事務局長補佐；田中　晋二郎
事務局員；石井　晴樹、笠原　修一、酒寄　喜一

なお、協議会機関紙の担当館は放送大学附属図書館と千葉市中央図書館が行う。

（２）平成２１年度事業報告
平成２１年度に実施した研修会等の事業報告が承認された。

（３）平成２１年度会計決算報告・監査報告について
事務局からの会計報告後、監査の石田　敦郎 氏（放射線医学総合研究所図書室長）から会計監査結果が報告され承認された。

（４）平成２２年度事業計画案について
研修のテーマは、引き続き「図書館サービスの改善と評価」とすることで承認された。

（５）平成２２年度会計予算案について
事務局案が承認された。

（６）ホームページ管理館について
平成２２年度は放射線医学総合研究所図書室が引続き管理館として承認された。

３ その他(連絡等)

下記項目について連絡された。

・加盟館調査について　　・平成２２年度会費の納入について
・研修会等について　　・機関紙（『Network 通信』）の原稿依頼について

☆千葉市図書館情報ネットワーク協議会加盟館一覧（平成２２年度）

放射線医学総合研究所図書室	神田外語大学附属図書館
敬愛大学・千葉敬愛短期大学メディアセンター	淑徳大学附属図書館千葉図書館
千葉経済大学総合図書館	千葉県立中央図書館
千葉市議会図書室	千葉市教育センター図書資料室
千葉市美術館美術図書室	千葉市中央図書館
千葉市みやこ図書館	千葉市花見川図書館
千葉市稲毛図書館	千葉市若葉図書館
千葉市緑図書館	千葉市美浜図書館
千葉大学附属図書館	千葉明徳短期大学図書館
東京歯科大学図書館	東京情報大学情報サービスセンター図書情報部
放送大学附属図書館	日本貿易振興機構アジア経済研究所図書館
植草学園大学図書館	千葉市生涯学習センター調査・資料室
千葉県立保健医療大学図書館	

※　千葉県立保健医療大学図書館は平成 21 年 11 月入会。

研修会の報告

○事例報告　「美術館と本：展示から考える」

千葉市美術館学芸員　　西山　純子

≪ 千葉市美術館　西山 氏 ≫

本日は、図書館ではなく美術館の立場から本をとりあげ、美術館と本をつなぐ存在である展示対象としての本、特に近代の装幀本をテーマにお話ししたい。

本とはまず「読む」ものであるが、文字情報以外にもさまざまな要素を有する。本を飾り、内容を明示または暗示する視覚的な要素が展示の対象となるわけだが、近年は美術館で本を展示する機会が増えつつある。本を活動のメインとする美術館もあり、例えば、さいたま市のうらわ美術館は「本をめぐるアート」を収集・展示活動のひとつの柱としている。

こうした傾向は、現代美術家たちによる「アーティストブック」や本を素材とする作品の紹介に端を発する。美術家たちは戦後、造本の常識をくつがえすような視覚的な本や、本に想を得た奇抜なオブジェの数々を世に送りだした。それらの源流を探ることから過去の作品へと対象が広がり、本は今や絵画や彫刻と同様に、展示室に居場所を得た感がある。本日とりあげる近代の装幀本は、そのなかでも作り手たちに「本＝アート」という意識が芽生えた、大変重要な時期の作例といえる。

装幀本はまた､アートとしてのみ重要なのではない｡本の外観から刊行時期が推定できるように、装幀には時代が反映する。文化状況ばかりではない。戦中から戦後まもなくにかけての簡素・劣悪な製本が物語る通り、基本的に売品である本には時代の経済的な限界も映しだされる。そうした意味で装幀は、読み込まれるべき内容を多く残した、興味尽きない領域といえる。

文明開化にともなう和本から洋本への移行が一段落し、洗練された洋装本が続々と刊行されるのが明治期末から大正期はじめである。明治 38 年の『吾輩ハ猫デアル』に始まる夏目漱石と橋口五葉のコンビ、大正 3 年の『日本橋』を嚆矢とする泉鏡花と小村雪岱の共作がその代表であろう。橋口五葉と小村雪岱は、表紙絵や口絵、挿画を単に描くだけでなく、函や見返し、扉をも含め、総合的に意匠すべきものとして本をとらえた。ブックデザインという発想もブックデザイナーという職業もいまだ存在しない時代であるが、彼らはその先駆けといえよう。

それでは近代の装幀本とは具体的にいかなるものなのか。千葉市美術館には橋口五葉の装幀本が数多く寄託されているので、そのなかからいくつかを紹介したい。まずは明治 39 年に刊行された『鶉籠』(夏目漱石著)。カバーと表紙に同じ六弁の花が配され、五葉に早くもトータルデザインという意識が芽生えていることがわかる。また所収の三篇には、木版で摺られた印章風のタイトルページが付されて実にユニークである。『草合』(同) では、表紙に漆で黒々と摺られたツワブキの葉や、所収の二篇の扉を飾る緻密な石版画が印象的である。また『浮草』(ツルゲーネフ著・二葉亭四迷訳) においては、帙、表紙、見返し、扉、本文、奥付のすべてをアール・ヌーヴォースタイルの甘美な植物文様が彩り、さながら図案集あるいは画集の様相を呈している。

≪ 研 修 会 の 様 子 ≫

これらは同時代の作例のごく一部にすぎない。美術館としては、近代の装幀本の多彩豊穣な世界を所蔵作品展、または企画展という形でできる限り発信していきたいと考えるが、問題点も少なくない。本は元来掌上で楽しむものであり、展示を前提にしていないため、カバーや表紙といっ

た外観しか見せられないケースが多く、また経年劣化により優品でありながら展示に適さないものもある。復刻本の併置や PC 上での画像投影などの解決法はあるが、なかなか行き届かないのが現状である。

装幀とは単なる飾りではなく、作品として独立しながら文章とともにあり、時には文章と拮抗するようにして存在するものである。装幀本の魅力を展示という形でいかに伝えるか、今後ともさまざまな課題に取り組みながら考えていきたい。なぜなら総合芸術としての装幀本の姿は、展示という観点があってはじめて気づくことのできるものでもあるからである。

○「伊藤若冲」展を見学して

淑徳大学附属図書館千葉図書館　　荒木　由紀子

『アナザーワールド』って何？　彩色あるものに対するモノクロと水墨画の作品が他の人と異なる作品が多い展示のため、あえてアナザーワールドとした旨の説明がなされたが、さすがに点数が多く圧巻です。

≪概要説明・千葉市美術館　高田氏≫

伊藤若冲：江戸時代中期の画家、家業の青物問屋を弟に譲り画業に専念した人。水墨画がとてもいい。筋目描きが伊藤若冲の独自の技法とするもので、家禽や動物の羽・植物の花びら・魚の鱗等のユニークさは全体の中の一部を切り取り､ダイナミックな構図や筆の勢いが真に迫っている。若冲は中国風の絵という「唐画」の画家とよばれていて、中国から京都宇治の黄檗山万萬福寺にもたらした黄檗文化の画風で作品を制作した。同時代の鶴亭の影響もあり、精緻に描かれているような印象です。私のお気に入りの数点を説明します。

① 鸚鵡図　止まり木に白い鸚鵡が一羽の図である｡鸚鵡の羽根の透けた部分が筋たけを残していても鸚鵡の羽根の白さが想像でき外来種の鳥を異国的な止まり木と相まってか、言葉を発する動物であるが、静かな印象がのこる。他の作品の鸚鵡図も構図は少し違うが、同じようである。

② 花鳥蔬菜図押絵貼屏風　六曲一双のもので、右隻一扇から「梅」「松」「雄鶏」「柳に烏」「鶴」「南瓜」「蓮」「秋海棠」「菊」「鴛鴦」「水仙」「鷹」の図で、四季の花、墨の濃淡と筆の勢いで躍動感すら感じまた写実的である。墨の滲みでの筋目描きがされている。何ともいえない良い雰囲気です。

③ 樹下鳥獣図屏風　六曲一双で、遠目でみるとモザイクです。近くに寄ってみて縦横の等間隔の線が描かれ一つの升目になっている。升目一つ一つが一色で塗られているのではなく濃淡で塗り重ねている。升目は十万個とあるが気の遠くなるような作業のようである。右一隻は白象を中心に「虎」「鹿」「獅子」「麒麟」「猿」「馬」「兎」等二十種以上の動物が描かれ、左隻は「鳳凰」「雄鶏」「孔雀」「鴛鴦」「雉」「七面鳥」等これも三十種以上の動物が描かれている。升目の一つ一つ丹念に描く方法は今までになかったようである。楽園を思わせる雰囲気は佛教絵画の涅槃図ともいえる。かなり宗教色を帯びていて、黄檗文化を咀嚼した結果このような作品になったものか。研究者でないので、一見学者の見たまま感じたままの表現であるが、詳細は図録を確認していただきたい。

この研修は「伊藤若冲」展でしたが、千葉市民は恵まれた環境にあることを自慢できます。世界的有名・著名な作家の作品を多く所蔵していることです。この展示に限らず私は何度も美術館に伺っていますが、千葉市民が普段着感覚で行ける美術館を目指してほしい。

Ⅱ 平成２２年度第２回研修会報告

日本貿易振興機構アジア経済研究所

平成２２年１１月２６日、日本貿易振興機構アジア経済研究所の会議室を会場に、２１名の参加を得て今年度の第２回研修会を開催しました。

今回は、日本貿易振興機構アジア経済研究所図書館の事例報告と施設の見学を実施しました。

日程・内容は下記のとおりです。

○事例報告
　テーマ：アジア経済研究所図書館運営業務の市場化テストの経緯と現状について
　発表者：井村　進氏（日本貿易振興機構アジア経済研究所図書館長）
　　伊藤　えりか氏（日本貿易振興機構アジア経済研究所図書館課長）

○施設見学　　日本貿易振興機構アジア経済研究所図書館

○事例報告　　市場化テスト後のアジ研図書館運営事情　―実務編―

アジア経済研究所図書館　資料サービス課　　伊藤　えりか

１．市場化後に変わった点

準備段階で業務フローを分析し、業務をいかに効率化するかの見直しを行った。アジ研図書館では業務に対する従来の考え方を大幅に変更し、基本的に「納期３週間」という考え方を取り込んだ。

図書目録の業務委託では、安定的に相当数（350～400冊）の整理冊数が確保されるようになり、滞貨図書の整理にも着手できるようになった。

≪アジア経済研究所図書館　伊藤 氏≫

また、アジ研図書館では、受け入れた雑誌に掲載されている開発途上国関連の論文を自館で独自にデータベース化しており、新着アラートサービスの対象としている。これまで雑誌記事索引の採録について、期限を設けていなかった。職員が一人で複数の業務を担当する状況下では、遅滞が発生し、新着アラートサービスの配信も含め、クレームが発生していた。今回、雑誌の受入れ、雑誌記事索引の採録、入力、チェック、配架までの納期を３週間と区切ったことにより、クレームが解消された。

２．市場化後、業務量が増えた点

入札スケジュールは１月下旬にアジ研図書館が落札業者に決定、今年度の委託業務である目録と閲覧・利用者サービスの入札準備を行い、３月中旬に再委託業者を決定、４月に新業務体制スタートで、あまりに押し詰まっていた。

業務報告書の作成と予算管理で事務量が増大した。業務委託業者には、研究所図書館に対し、業務状況を把握するための月報による報告の提出を依頼している。直営部分についても、業務目標の達成状況を把握するための報告をアジ研図書館（委託側）に月報で行うため、業務日誌の記録、月報作成と、業務達成数値、納期管理の個票のとりまとめを毎月行っている。予算管理では、入札の結果落札した以上、落札価格を上回らない予算管理が重要となる。市場化業務は図書館内の予算の一部となっているが、予算管理上、市場化部分を一つの括りとした区分経理をしなければならなくなった。市場化担当課以外の職員が雑誌記事索引や多言語目録に携わるバックヤード業務方式を採用したため、人件費の管理が重要になっている。

３．問題点と今後の課題

市場化対象とした目録業務と閲覧・利用者サービス業務について、今後図書館内部で職員を育成することは難しくなった。目録業務ではカタロガーを一朝一夕で育成することは不可能で、目録業務委託のモニタリングと、アジ研図書館の売りでもある多言語目録に将来大きな影響をもたらす。また、閲覧利用者サービスを業務委託した結果、利用者との接点が高度なレファレンスだけとなった。利用者サービスは日常の利用者との接触が職員の意識を高め、レファレンス・インタビューのスキルを高める動機となる。その機会が減ること自体、図書館職員としての一つの方向性を閉ざすことになる。

今後は以下の変化に図書館として、職員としてどのように適応していくかが課題であろう。

①市場化業務の対象に目録と閲覧という、ある程度の規模の図書館では通常それぞれ独立して扱われる業務が含まれ、市場化担当課の守備範囲が非常に広くなった。

②業務を市場化対象部分と非市場化部分に切り分けた結果、内部の業務体制が大きく変わった。

③職員一人ひとりは自己工程管理を任されることになり、意識改革が求められている。

≪ 研 修 会 の 様 子 ≫

Ⅲ 平成２２年度第３回研修会（中止）

平成２３年３月１３日（日）に開催を予定していましたが、前々日の３月１１日（金）に発生した東日本大震災の影響により中止しました。

Ⅳ 平成２３年度総会及び第１回研修会の報告

平成２３年７月１４日、千葉市生涯学習センターを会場として、平成２３年度の総会及び第１回研修会を開催しました。ネットワーク協議会加盟館２６館中、１９館（委任状７館）２９名の参加を得て、総会における議事はすべて承認されました。

研修会では、今年３月１１日に発生した「東日本大震災」による被災状況及びその後の対応について、加盟館の状況を報告していただきました。まず、放送大学附属図書館の図書情報課長・三浦正克氏から、そして、千葉県立中央図書館の館内奉仕課長・伊藤博氏からの発表がありました。その後、各加盟館より状況報告等がありました。

日　時	平成２３年７月１４日（木曜日） 午後２時００分～２時４５分　総会 午後３時００分～４時３０分　第１回研修会
会　場	千葉市生涯学習センター　大研修室（３階）

総会の報告

１ 開会

２ 議事

（１）平成２３年度役員について

人事異動等に伴う役員の交代について報告があり、承認された。なお、長年理事を務めていただきました藤井武彦氏が敬愛大学を退職なされ、後任には敬愛大学・千葉敬愛短期大学メディアセンターの安岡貴美代氏が理事に、また、監査には今井克己氏の後任として、千葉市生涯学習センターの鈴木康夫氏がなられました。

≪ 会 長　斉藤　誠一 氏 ≫

役員はつぎのとおりです。

【理事】

会　長　齊藤　誠一 氏（千葉経済大学総合図書館）

副会長　三浦　正克 氏（放送大学附属図書館）

伊藤　　博 氏（千葉県立中央図書館）

井村　　進 氏（日本貿易振興機構アジア経済研究所図書館）

佐藤　尚武 氏（千葉大学附属図書館）

丹羽　重之 氏（神田外語大学附属図書館）

安岡　貴美代 氏（敬愛大学・千葉敬愛短期大学メディアセンター）

森　　生也 氏（植草学園大学図書館）

山本　和豊 氏（千葉市稲毛図書館）

【監査】　石田　敦郎 氏（放射線医学総合研究所図書室）

鈴木　康夫 氏（千葉市生涯学習センター）

（２）平成２２年度事業報告

昨年度実施した研修会等の事業報告が承認された。

（３）平成２２年度会計決算報告・監査報告について

事務局からの会計報告後、監査の石田　敦郎 氏（放射線医学総合研究所部長）から会計監査結果が報告され承認された。

（４）平成２３年度事業計画案について

研修会では、昨年度中止となった講演会を加盟館紹介展開催期間中に実施すること、また、

新たに調査研究事業として、他自治体のネットワーク関係を調査することなどが承認された。

（５）平成２３年度会計予算案について
事務局案が承認された。

（６）協議会ホームページの運営について
事務局から平成２４年度以降のホームページの構築について説明があった。また、平成２３年度も射線医学総合研究所図書室が引続き管理館として承認された。

３ その他(連絡等)
下記項目について連絡された。
・加盟館調査について　　・平成２３年度会費の納入について
・機関紙（『Network 通信』）の原稿依頼について

☆千葉市図書館情報ネットワーク協議会加盟館一覧（平成２３年度）

放射線医学総合研究所図書室	神田外語大学附属図書館
敬愛大学・千葉敬愛短期大学メディアセンター	淑徳大学附属図書館千葉図書館
千葉経済大学総合図書館	千葉県立中央図書館
千葉市議会図書室	千葉市教育センター図書資料室
千葉市美術館美術図書室	千葉市中央図書館
千葉市みやこ図書館	千葉市花見川図書館
千葉市稲毛図書館	千葉市若葉図書館
千葉市緑図書館	千葉市美浜図書館
千葉大学附属図書館	千葉明徳短期大学図書館
東京歯科大学図書館	東京情報大学情報サービスセンター図書情報部
放送大学附属図書館	日本貿易振興機構アジア経済研究所図書館
植草学園大学図書館	千葉市生涯学習センター調査・資料室
千葉県立保健医療大学図書館	増田学園図書館

※　増田学園図書館は平成 23 年 5 月入会

研修会の報告

○事例報告１　東日本大震災　図書館の被災から復旧へ －今後の教訓として－

放送大学附属図書館　図書情報課長（副館長）　三浦　正克

≪ 放送大学附属図書館　三浦 氏 ≫

今回の事例報告は、災害報告や復旧をどの様に行ったかということではなく、被災経験による重要なポイントを共有し、不測の事態への対応や行動を少しでも万全にする一助になることを念頭に報告しました。

（はじめに）

この度の東日本大震災では人的にも多大な被害が発生しましたが、幸いにも図書館関係施設において負傷者等が出なかったことは、千葉市図書館情報ネットワーク協議会をはじめ国立大学図書館協議会などでも報告されているところであり、このことは関係者の機敏

な対応と十分とは言えないまでも日常の施設管理の賜物と私たち関係者は自負してよいことと思っています。

今回の研修会において報告しました内容は以下のとおりですが、再度、安全管理と今後の対策に役立てていただければ幸甚です。

（報告概要）

事例報告では、はじめに普段の図書館施設の利用状況や整然とした施設の紹介を行い、未曾有の大震災によりどのように変貌したか写真で順次紹介しました。被災した 3 月 11 日（金）14 時 46 分過ぎから 15 時頃までの 15 分の間に職員がどのように駆け回り利用者の安全確保と誘導作業を行ったか、10 万冊以上にも及ぶ落下した図書が散乱する書架や電動集密書架、倒れた書架、剥離した壁、揺れの方向により図書の落下量が大きく異なっていること、さらに集密書架の間に挟まった図書の処理など震災の大きかったことを紹介。また、大学全体の被災についてもグラウンドの液状化現象、水道管の水溢れ、通路のひび割れなど危険な個所を紹介。続いて当面の館の運用対応をどのように行ったか、特にホームページによる周知などについても時系列に紹介し、さらに数日後に行った書架の安全点検や安全対策工事などについても作業工程を振り返りながら報告。特に、書架の安全については、どのような転倒防止策が有効か、図書の落下防止策（装置など）はどのようなものがあるのかなど様々な方法とその効果等について、放送大学の図書館が行った対策や他機関の例について紹介しました。

多くの人手を必要としました復旧作業については、本学職員のみならず千葉大学附属図書館からも数十人の職員の応援や委託業者の積極的参加などの緊急応援体制があったことを紹介しネットワークの重要性を示唆しました。

時間的な都合で具体的な内容は一部しか紹介ができませんでしたが、安全確保のための新たな対応策として次のような観点からの見直しや検討、整備を進める必要があることを指摘しました。

・防災訓練（これまでは消防訓練であった）の見直し
・夜間、土日（職員が不在の時間帯）に災害が発生した場合の対応
・防災用品の整備と管理
・情報（伝達手段）の確保（ＰＣ、電話、携帯メールの機能と有用性）と情報の共有
・個人情報であっても緊急連絡網の整備
・緊急時に最低限必要なマニュアルの整備

最後に、今回の震災経験から図書館員が大きな災害に遭遇した時にどのような対応をすべきか、次のようなまとめを行いました。

まず、自分の安全を第一に確保しつつ利用者の安全誘導にあたること。誘導に際しては個人行動は慎み連携行動を行うこと。これらの連携行動は普段（不断）の訓練と備えにより確実に行われること。そして施設設備の定期点検と保守を行い不測の時に備えること。また、マニュアルはあくまでも参考メモとし、実際の行動は頭と体に叩き込んで機敏な行動ができること。即応マニュアル（緊急放送の内容、救急対応など）の整備は必ず行うこと。マニュアルの整備には想定外はあってはならない。図書館では可能な限り二重三重の安全対策を講じて、安心して学習できる場の提供と後世に残す貴重な資料の保存に努めなければならない。

研修会では、貴重書の破損とその修理をどのように行ったか、発生時の状況はどうだったのか、などの具体的な質問もありました。

今起きるかもしれない災害に対しての意識向上と心の備え、組織や施設の見直し、千葉市図書館情報ネットワークの更なる連携に繋がることを期待し報告といたします。

≪ 研 修 会 の 様 子 ≫

放送大学附属図書館の被災状況

通常時には整然と図書が並んでいます

被災直後の散乱した図書と書架の状態

足の踏み場もない程散乱した図書

倒壊した書架からは全ての図書が落下

壁に寄り掛かる倒壊した書架

電動集密書架の間に落下した図書

落下してもビデオテープには破損はありませんでした

避難場所も川のように水が流れていました

○事例報告２　　３．１１　報告と反省とこれからのこと

千葉県立中央図書館　館内奉仕課長　　伊藤　博

１　報告

県立中央図書館は 1968（昭和 43）年に竣工し、43 年が経過している。平成 18 年度に大高建築設計事務所が実施した耐震診断では、ＩＳ値が 0.25 と判定され、国の定める震度強度の基準を大きく下回っている。

≪ 千葉県立中央図書館　伊藤 氏 ≫

（１）当日の被害状況

・ 避難誘導　地震発生当時、来館者は 30 人ほどで、幸い児童の来館者はいなかった。余震も収まった時点で、利用者・職員とも、駐車場に避難し、家族からの連絡に備え、お名前と電話番号を控えた。携帯ラジオで情報提供を続ける。利用者の荷物を職員が図書館内に取りに行き、荷物を渡した。

・ 被害状況　人的被害はなかった。窓ガラスが 21 箇所破損し、多数箇所でコンクリート片が落下した。7 層ある書庫のうち、上層 3 層の資料が 1 万 2 千冊程度落下した。

（２）開館まで

・ 3 月 12 日（土）・13 日（日）は県立東部図書館職員の協力も得、書庫の復旧作業。

・ 県の施設で IS 値 0.3 未満の施設は、耐震の再調査の結果が出てから開館することになり、4 月 20 日（水）まで休館した。その間、電話での利用案内や、文書、電話、メールによるレファレンス及び障害者のための郵送貸出しを通常どおり実施した。

・ 3 月 31 日（木）ホームページでの企画展示「大地震と県民の安全性を考える」

・ 4 月 1 日（金）から 20 日（水）まで、千葉県文化会館ロビーに臨時窓口を設置し、予約本貸出し及び返却を開始した。（実績：12 日　利用者 122 人　貸出冊数 268 冊）

・ 1 週間を過ぎてから、休館に対するクレームが多くなる。4 月 22 日（金）に読売新聞に「図書館も被災　県立中央」が掲載されてからは、クレームが激減した。

・ 4 月 21 日（木）開館　開館時間は午前 9 時から午後 5 時まで

・ 5 月 1 日（日）から通常開館

２　反省　マニュアルの改訂に向けて

・ 「火災・地震対応マニュアル」どおりには動けなかった。
避難業務を職員に分担を指示する余裕がなく、安全確認がスムーズに行えなかったり、人数の把握ができなかった。避難路にあたる場所の硝子が割れたところがあり、迂回路等が考えられていなかった。

・ 声かけの言葉は具体的に決めておく必要がある。
（一次避難）「地震です。本棚や窓ガラス、壁から離れてください。上着やかばんで頭を護ってください。机の下に入り、机の脚をしっかりつかんでください。」「強い揺れは長くは続きませんので、机の下でしばらくお待ちください」
（全体放送）地震の説明
（二次避難）揺れが収まった時点で、部屋の中央に集まり、職員が声を出し、人数を数える。
「頭を護るものと貴重品だけ持ち、職員の指示に従って、外へ避難してください。」職員が手を上げ「一列になって、後についてきてください。」

３　これから　大震災後、考えたこと

・ 実際に役立つ「火災・地震対応マニュアル」の作成と訓練
絶対ではないけれど、可能な限り整備する。そのうえで、マニュアルにない事態が起こった場合はどう決定するか。

・ 図書館を避難所として提供できるか検討する必要性

・ 図書館サービスのためのマニュアルの必要性
県立中央図書館が閉館時に、利用者の方に、県立図書館にしか所蔵のない資料の閲覧の補償を強く求められた。災害時にあっても、図書館サービスを途切れることがなく、継続できるシステム作りが求められている。

・ 閉館時も災害情報等を整理し、住民が求める正確な情報を提供する必要性

各 館 の 行 事 予 定(2011年9月～2012年3月末)

月　日	主 催 館	行 事 名	概　　要	場所・時間等
9月14日, 11月16日, 2月29日	千葉市稲毛図書館	はじめてのおはなし会	２歳児とその保護者を対象とした、わらべうた・絵本の読み聞かせ。	10:30～
9月17日	千葉市稲毛図書館	青少年の日記念日おはなし会	３～６歳児、小学生、保護者を対象とした絵本の読み聞かせ。	10:00～ 3～6歳児とその保護者 11:00～ 小学生とその保護者
10月1日	千葉市若葉図書館	秋の親子おはなし会	読み聞かせやおはなしを親子で楽しむ	15:00～ 3,4歳児とその保護者 16:00～ 5歳児以上とその保護者
10月1日, 1月21日	千葉市稲毛図書館	小学生土曜日おはなし会	小学生を対象とした絵本の読み聞かせ。	稲毛図書館 10:00～
10月5日, 12日,19日	千葉市若葉図書館	親子で楽しむ絵本講座	３歳児とその保護者を対象にわらべうたや手遊びを行う。 （定員１５組）	10:30～11:30
10月6日, 13日	千葉市稲毛図書館	わらべうたと絵本講座	３歳児とその保護者を対象とした、わらべうた・絵本の読み聞かせ。	14:00～
10月6日, 13日	千葉市美浜図書館	親子で楽しむわらべうたと絵本の会	２歳児の親子を対象に、わらべうたと手遊び絵本の読み聞かせ等を行う。	高洲・子育てリラックス館 10:30～11:00
10月6日, 13日	千葉市美浜図書館打瀬分館	親子で楽しむ絵本講座	３歳児の親子を対象に、絵本の選び方、楽しみ方についての講座を行う。	打瀬公民館 10:00～11:30
10月7日, 14日	千葉市花見川図書館	わらべうたと絵本講座 （全２回）	２歳児の親子を対象に、わらべうたと手遊び、絵本の読み聞かせ等を行う。 （１０組）	多目的室 11:00～
10月7日, 14日	千葉市みやこ図書館	むわらべうたと絵本講座	親子を対象に、本の紹介や読み聞かせ・わらべうたや手遊びを行い絵本の楽しさを知ってもらう。	集会室 10：00～12：00 2・3歳児とその保護者
10月8日	千葉市若葉図書館西都賀分館	秋の親子おはなし会	読み聞かせやおはなしを親子で楽しむ	15:00～ 3,4歳児とその保護者 15:45～ 5歳児～小学校低学年とその保護者
10月13日～16日	放送大学附属図書館	放送大学附属図書館所蔵コレクション展	ちりめん本と幕末明治の古写真やランタンスライド、立体写真などを展示	宮城県仙台市 10:00～18:00 （最終日15:00）
10月22日	千葉市中央図書館	千葉市中央図書館・生涯学習センター開館１０周年 「子ども読書まつり」	①大型絵本・大型紙芝居 ②わらべうた ③おはなし会 ④外国語おはなし会（英語） ⑤千葉県・千葉市の１０年間の出来事（展示） ⑥子ども向け落語会 ⑦クイズ　　他	中央図書館 生涯学習センター 10:00～16:00
10月26日	千葉市緑図書館あすみが丘分館	親子おはなし会	親子で楽しめる「絵本の読み聞かせ」など	あすみが丘分館 15:45～16:15 対象：3歳児以上と保護者
10月28日	千葉市美浜図書館打瀬分館	子ども読書まつり 「大人のためのおはなし会」	大人を対象に昔話の語りを楽しむ	打瀬公民館 13:00～16:00
10月29日	千葉市花見川図書館花見川団地分館	子ども読書まつり	「子ども読書推進計画」による事業の一環。広く図書館に親しむ機会として、わらべうたや工作あそびを行う。	多目的室 わらべうた 10:30～11:00 工作あそび 13:00～16:00

月　日	主 催 館	行 事 名	概　　要	場所・時間等
10月29日	千葉市稲毛図書館	子ども読書まつり	わらべうたであそぼう	10:00～ 1歳児とその保護者 11:00～ 2歳児とその保護者
			おはなし会	14:00～　3～6歳児 15:00～　小学生
			図書館クイズ	10:00～　小学生以下
10月29日	千葉市若葉図書館	子ども読書まつり	わらべうたを親子で楽しむ	10:00～10:30 0･1歳児とその保護者 11:00～11:30 2･3歳児とその保護者
			読み聞かせやおはなしを親子で楽しむ	15:00～15:20 3･4歳児とその保護者 15:45～16:15 5歳児以上とその保護者
			高校生が語るおはなし会	11:00～11:30 3歳児以上とその保護者
10月29日	千葉市緑図書館	子ども読書まつり	いろいろなイベントを楽しむことで、本や図書館への関心を深める。	緑図書館
10月30日	千葉市花見川図書館	子ども読書まつり	図書館に親しむ機会として、おはなし会、紙芝居、科学遊び、古代くみひも、雑誌リサイクル等を行う。ボランティアの参加も予定。	9:30～16:00
10月以降	千葉市花見川図書館	図書館資料索講座	利用者に館内検索機の操作方法を教示し、図書館資料の探し方を習得してもらう。 （数回実施）	事務室 10:00～
11月1日～16日	千葉市美浜図書館	図書館クイズ	小学生を対象に図書館の本を使ったクイズを解く	美浜図書館
11月1日，8日	千葉市美浜図書館打瀬分館	親子で楽しむ絵本講座	１・２歳児の親子を対象に、絵本の選び方、楽しみ方についての講座。	打瀬公民館 10:00～11:30
11月4日～13日	放送大学附属図書館	放送大学附属図書館所蔵コレクション展	ちりめん本と幕末明治の古写真やランタンスライド、立体写真などを展示	石川県 10:00～18:00 （最終日15:00）
11月5日	千葉市みやこ図書館	子ども読書まつり	わらべうたやおはなし会などのイベントの開催する。	みやこ図書館
11月5日	千葉市美浜図書館	子ども読書まつり 「親子おはなし会」	３歳児以上の親子を対象に、絵本の読み聞かせや手遊び等を行う。	高洲・子育てリラックス館 10:30～11:00　3歳以上 11:30～12:00　5歳～小学生
11月5日	千葉市美浜図書館	子ども読書まつり 「雑誌リサイクル」	保存期間を過ぎた雑誌を利用者に配布する。	美浜図書館
11月上旬	千葉市稲毛図書館	文学講演会	一般市民を対象に、講師を招いて文学に関する講演会。	10:00～　一般市民
11月16日	千葉市花見川図書館	郷土史講座	高校生以上を対象とする郷土千葉市に関する講演会。資料展示も併せて行い、郷土に対する知識を深めてもらう。	多目的室 13:30～
11月16日	千葉市若葉図書館	図書館市民講座	「暮らしの安全と安心・パートⅡ」をテーマに「家庭生活と放射能（仮題）」の講座を予定。	若葉図書館 10:00～12:00
11月18日	千葉市美浜図書館	図書館情報検索講座	図書館に設置されている館内資料検索機の使い方や資料の探し方に関する講座	美浜図書館

月　日	主 催 館	行 事 名	概　　要	場所・時間等
11月19日	千葉市緑図書館	図書館市民講座	「暮らしの安全と安心・パートⅡ」をテーマに「年金の基礎知識（仮題）」の講座を予定。	緑図書館
11月19日～12月1日	千葉市生涯学習センター（ちば生涯学習ボランティアセンター）	ボランティアフェア	ちば生涯学習ボランティアセンターに講師登録されている方々によるパネル展示発表を展開	千葉市生涯学習センター1階　アトリウムガーデン
11月25日	千葉市美浜図書館打瀬分館	図書館市民講座	「暮らしの安全と安心・パートⅡ」をテーマに「家庭生活と放射能（仮題）」の講座を予定。	打瀬公民館
11月26日	千葉市みやこ図書館	図書館市民講座	「暮らしの安全と安心・パートⅡ」をテーマに「家庭でできる防災対策（仮題）」の講座を予定。	みやこ図書館
11月26日	千葉市花見川図書館花見川団地分館	図書館市民講座	「暮らしの安全と安心・パートⅡ」をテーマに「家庭生活と放射能（仮題）」の講座を予定。	多目的室 10:00～
11月26日	千葉市稲毛図書館	図書館市民講座	「暮らしの安全と安心・パートⅡ」をテーマに「年金の基礎知識（仮題）」の講座を予定。	稲毛図書館 10:00～
12月3日	千葉市中央図書館	図書館市民講座	「暮らしの安全と安心・パートⅡ」をテーマに「家庭でできる防災対策（仮題）」と「家庭での上手な電気の使い方（仮題）」の講座を予定。	10:00～12:00 14:00～16:00
12月3日，4日	千葉市生涯学習センター	千葉市生涯学習センター・中央図書館開館１０周年「まなびフェスタ2011」	地域で活躍しているグループ、個人の企画（体験教室や展示、講座等）やステージ発表の場	千葉市生涯学習センター各所 9:30～17:00
12月10日	千葉市若葉図書館	冬の親子おはなし会	絵本の読み聞かせ等	14:00～ 3･4歳児とその保護者 15:00～ 5歳児以上とその保護者
12月14日	千葉市緑図書館あすみが丘分館	クリスマスおはなし会	親子で「おはなし会」を楽しむ	あすみが丘分館 15:45～16:15 対象：3歳児以上と保護者
12月16日	千葉市花見川図書館	冬のおはなし会	素話、パネルシアターなどを通して、本との出会いを深めてもらう。（幼児～）	多目的室 11:00～ 1～3歳児と保護者 16:00～ 4歳児～小学生と保護者
12月16日	千葉市稲毛図書館	冬の親子おはなし会	絵本、本の読み聞かせ。	15：15～ 3～6歳とその保護者 16：00～ 小学生とその保護者
12月16日	千葉市緑図書館	冬のおはなし会	親子で「おはなし会」を楽しむ	11:00～　2･3歳児と保護者 15:30～　4歳～ 16:00～　小学生～
12月17日	千葉市中央図書館	冬の親子おはなし会	読み聞かせやおはなし、パネルシアターなどを親子で楽しむ。（３歳以上の幼児・児童とその保護者が対象：各定員３０組）	おはなしのへや 11：00～ 3,4歳児と保護者 15：00～ 5歳以上と保護者
12月17日	千葉市花見川図書館	冬の子ども映画会	子ども対象の映画を上映し、図書館に親しむきっかけづくりをする。	多目的室 10:00～
12月17日	千葉市緑図書館土気図書室	冬のおはなし会	親子で「おはなし会」を楽しむ	土気公民館 14:00～14:30 対象：3歳児以上と保護者
12月17日	千葉市美浜図書館	冬の親子おはなし会	３歳児以上の親子を対象に、絵本の読み聞かせやパネルシアター等を楽しむ。	高洲・子育てリラックス館 10:30～11:00　3歳以上 11:30～12:00　5歳～小学生

月　日	主 催 館	行 事 名	概　　要	場所・時間等
12月21日	千葉市みやこ図書館白旗分館	冬の親子おはなし会	大型絵本、紙芝居などを親子で楽しむ。（3歳児～小学生）	南部青少年センター和室 15：30～16：00
12月21日	千葉市花見川図書館花見川団地分館	冬のおはなし会	素話、パネルシアターなどを通して、本との出会いを深めてもらう。（3歳児～小学生）	多目的室 15:30～
12月21日	千葉市若葉図書館西都賀分館	冬の親子おはなし会	絵本の読み聞かせ等	15:00～ 3・4歳児とその保護者 15:45～ 5歳児～小学校低学年とその保護者
12月22日	千葉市美浜図書館打瀬分館	冬のおはなし会	親子を対象に、絵本の読み聞かせ、素はなし等を楽しむ。	打瀬公民館 15:30～16:00　3歳以上 16:00～16:30　5歳～小学生
12月24日	千葉市みやこ図書館	冬のおはなし会	絵本の読み聞かせやおはなし、パネルシアターなどを親子で楽しむ。	集会室 10：00～　3～6歳 11：00～　小学生
12月24日	千葉市若葉図書館泉分館	冬の親子おはなし会	絵本の読み聞かせ等	11:00～11:30 3歳児以上とその保護者
1月7日	千葉市みやこ図書館	かるたあそび	小学生を対象にかるた遊びを楽しむ。	集会室 10：00～12：00
1月7日	千葉市みやこ図書館白旗分館	かるたあそび	小学生を対象にかるた遊びを楽しむ。	南部青少年センター和室 10：30～11：30
1月7日	千葉市花見川図書館	かるたあそび	図書館でおなじみの絵本で、かるたとりやぼうずめくりを楽しむ。（小学生）	多目的室 10:00～
1月14日	千葉市花見川図書館	図書館市民講座	「暮らしの安全と安心・パートⅡ」をテーマに「家庭生活と放射能（仮題）」の講座を予定。	多目的室 10:00～
1月21日	千葉市美浜図書館	わらべうたと絵本の会	２・３歳児の親子を対象に、わらべうたや絵本の読み聞かせ等を楽しむ。	高洲・子育てリラックス館 10:30～11:00
1月25日	千葉市花見川図書館花見川団地分館	昔話おはなし会	昔話を通して本に親しむきっかけをつくる。（幼児～）	多目的室 15:30～
1月～2月（予定）	千葉市中央図書館	児童文学講座	市民を対象とした、児童文学に関する講座：定員８０名	生涯学習センター　大研修室
2月上旬	千葉市稲毛図書館	美術講座	千葉市美術館学芸員を招いて美術に関する講演会。	10:00～　一般市民
3月25日	千葉市中央図書館	子どもが語るおはなし会	高校生が読み聞かせを行う。（3歳～小学生、定員３０名）	おはなしのへや 15:00～15:30
不定期	千葉市生涯学習センター 調査・資料室	蔵書展示	テーマを決めて展示（隔月で入れかえ）	千葉市生涯学習センター 調査・資料室 9:00～17:00

（通 年）

月　日	主 催 館	行 事 名	概　　要	場所・時間等
毎週火曜日	千葉市みやこ図書館	おはなし会	幼児・小学生を対象に本の読み聞かせ・手遊び・おはなしなどを行う。	おはなしのへや 15:30～　3～5歳児 16:00～　年長児・小学生
毎週金曜日（第3金曜日を除く）	千葉県立中央図書館	図書館活用ミニ講座	県立図書館OPACの検索方法等	10:30～11:00
毎週金曜日	千葉市花見川図書館	おはなし会	４歳児～小学生。 素話、絵本の読み聞かせ。	多目的室 16:00～
毎週金曜日	千葉市稲毛図書館	おはなし会	３～６歳児、小学生を対象とした絵本の読み聞かせ。	稲毛図書館 15:15～　3～6歳児 16:00～　小学生

月　日	主 催 館	行 事 名	概　　要	場所・時間等
毎週金曜日	千葉市若葉図書館	おはなし会 （職員）	絵本の読み聞かせ （３歳児～小学校低学年）	15:30～
毎週金曜日	千葉市緑図書館	えほんのじかん	２・３歳児と保護者対象	緑図書館 11:00～
毎週金曜日	千葉市緑図書館	おはなし会	４歳児～小学生対象。	緑図書館 15:30～　4歳児～ 16:00～　小学生～
毎週金曜日	千葉市美浜図書館	おはなし会	３歳児～小学生。 素話、絵本の読み聞かせ。	高洲・子育てリラックス館 15：30～　3・4歳児 16：00～　5歳児～
毎週土曜日	千葉県立中央図書館	定例おはなし会	絵本の読み聞かせ、おはなし、本の紹介（4歳～小学生）	児童資料室 13:30～14:00
毎週土曜日	千葉市中央図書館	おはなし会	年齢別に読み聞かせを行う。 （定員各３０名）	おはなしのへや 11：00～　3・4歳児 14：30～　5・6歳児 15：00～　小学生 ＜7・8・9月のみ＞ 10：00～　3・4歳児 11：00～　5歳～小学生
毎週土曜日	千葉市若葉図書館	おはなし会 （ボランティア）	絵本の読み聞かせ （３歳児～小学校低学年）	14:00～
月２回 (第2・第4水曜日)	千葉市若葉図書館西都賀分館	おはなし会	絵本の読み聞かせ等 （３歳児～小学校低学年）	15:00～
月２回 (第2金曜日、第4日曜日)	千葉県立中央図書館	書庫見学会	県立中央図書館書庫の見学	9:30～10:30
月２回	千葉市若葉図書館泉分館	大人向けおはなし会 （高齢者福祉施設との連携）	絵本や紙芝居の読み聞かせ等	
月１回 第2水曜日	千葉市若葉図書館	わらべうたの会 （職員）	わらべうたの実践と絵本の読み聞かせ	10:00～ 1・2歳児とその保護者
月１回 第2水曜日	千葉市緑図書館あすみが丘分館	おはなし会	対象：3歳児～	あすみが丘分館 15:45～
月１回 第3水曜日	千葉市みやこ図書館白旗分館	おはなし会	幼児・小学生を対象に本の読み聞かせ・手遊び・おはなしなどを行う。	南部青少年センター和室 15:30～16:00 （9月は11:00～11;30）
月１回 第4水曜日	千葉市花見川図書館花見川団地分館	おはなし会	３歳児～小学生。 素話、絵本の読み聞かせ。	多目的室 15:30～
月１回 第4木曜日	千葉市美浜図書館打瀬分館	おはなし会	３歳児～小学生。 素話、絵本の読み聞かせ。	打瀬公民館 15:30～　3・4歳児 16:00～　5歳児～
月１回 第2金曜日	千葉市中央図書館	わらべうたと絵本の会	わらべうた、手遊び、顔遊び、絵本の読み聞かせなどを親子で楽しむ。 （定員各15組）	生涯学習センター大研修室 10:00～10:30 1歳児と保護者 11:00～11:30 2歳児と保護者
月１回 第3金曜日	千葉市花見川図書館	わらべうたと絵本の会	１～３歳児。 絵本の読み聞かせとわらべうた	多目的室 11:00～
月１回 第2土曜日	千葉市若葉図書館泉分館	おはなし会	絵本の読み聞かせ （３歳児～小学校低学年）	11:00～

※　お問い合わせは、各実施館へ。

～　～

ネットワーク通信　Ｎｏ．３４
２０１１年 ８月 ３１日
発行：千葉市図書館情報ネットワーク協議会

事務局：千葉市中央図書館内
〒260-0045　千葉市中央区弁天3－7－7
TEL 043-287-3980　FAX 043-287-4074